



三重津海軍所跡の出土遺物を シンクロトン光で解明

講師：田端 正明

(佐賀大学名誉教授、佐賀市重要産業遺跡調査指導委員会副委員長)

2022. 6/25 (土) 13:30~15:00

会場：東よか干潟ビジターセンターひがさす レクチャールーム

対象：中学生以上

定員：20名程度 (先着順に受け付けます)



J. Archaeol. Sci. Rep., 36, 108238 (2022)
より転載

～講演内容～

有明海に注ぐ早津江川の右岸に幕末期に設置された三重津海軍所跡(世界文化遺産)からは、日本最初の木枠構造のドライドックの遺構が発掘され、銅製品や金属を溶解した坩堝、さらには多数の磁器(碗、皿)が出土した。当時の三重津海軍所の活動の様子を解明するために、出土遺物について九州シンクロトン光施設で蛍光X線分析をおこなった。講演では、磁器の種類と生産地、銅製品の組成と幕末期の日本の技術について、報告する。

プロフィール

佐賀大学名誉教授、理学博士、分析化学。

佐賀大学の定年退職(2009年)後、5年間福岡大学で非常勤講師を勤めた。

一方、退職後も理工学部に研究室を構え、シンクロトン光施設で出土遺物の分析、

アスベスト建材の無害化と再利用について研究した。

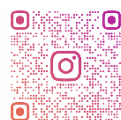
現在、令和4年度～6年度の環境研究総合推進費(環境省)に採択され、災害廃棄建材中のアスベストの非破壊検出法の研究に2名の若手教授と2名の博士課程大学院生(RA)の協力で研究代表者として取り組んでいる。

さんかむりよう
参加無料

※ 新型コロナウイルス感染症等の状況により、内容を変更する場合があります。

■問合せ先・申し込み

東よか干潟ビジターセンター ひがさす
〒840-2222 佐賀市東与賀町田中 2757 番地 4
電話:0952-37-0515 FAX:0952-37-0548
mail:higasasu@city.saga.lg.jp



ひがさすHP HIGASASU.SACA.2028



HIGASASU
Higashiyoka-Higata VISITOR CENTER

